

人口	484,204人 (+170)
男	235,101人 (+141)
女	249,103人 (+29)
世帯数	175,657 (+245)

住民基本台帳による！()は前月比

平成 7年
8月6日
第1484号

にいがた



発行日 毎週日曜日 発行新潟市 〒951 編集 総務部広報課
学校町通1-602-1 印刷 朝第一印刷所

8月9日～14日
50年の歩み展
平和の尊さをアピール

新潟県市新潟日報社では、戦後五十年を機に、五十年の歩み一展を市民プラザで開催します。同展は戦後から現在までの五十年の「歩み」を、写真、文芸、音楽、人々の暮らし、産業、文化の移り変わりや世界の現在から、マスコミから見た戦後の状況を写真、文芸、音楽などで紹介し、平和の尊さをアピールするものです。なお、八月九日午前10時から、平山県知事、長谷川市長出席のもとティーアップを行います。

新潟日報社 写真パネル展：八月九日～十四日、市民プラザで戦後五十年の移り変わりを写真で紹介。期間中、同プラザでビデオ二十世紀世界の記録」を上映します。八月二十一日午後二時から、マスコミから見た戦後の状況を写真、文芸、音楽などで紹介し、平和の尊さをアピールするものです。八月九日午前10時から、平山県知事、長谷川市長出席のもとティーアップを行います。

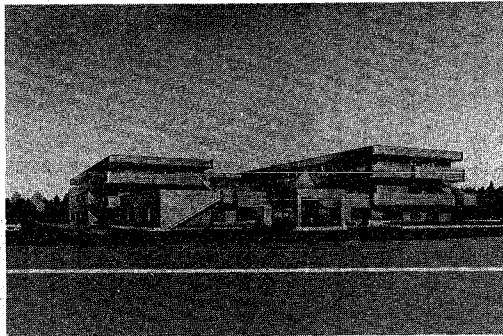


郷土資料館
祖父母が伝える太平洋戦争展

郷土資料館では、夏休み期間に併せて、「祖父母が伝える太平洋戦争」展を開催しています。この特別展は、戦後五十年に当たる今年、戦争と平和、新潟市民と太平洋戦争について考える機会にもつくりたいと開催したものです。同館が特別展のため行った戦時下の生活にかかわる資料の提供の呼び掛けには、市民の皆さんから約四百点が寄せられています。期間は八月三十一日まで。時間：午前九時～午後四時。観覧料：高校生以上百円、小・中学生五十円。問い合わせ：同館 222 813259

高齢者福祉施設を充実

特別養護「はまゆう」建設進む



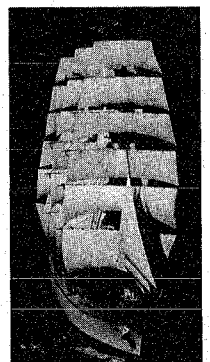
「はまゆう」の完成予想図

高齢化社会に対応したまちづくりを進めようとして、市では、高齢者福祉施設の整備に努めています。本年度は、新設される特別養護老人ホーム「はまゆう」と「江東園」のほか、乳児保育園に併設するデイサービスセンターの建設費を助成。それぞれ計画が進められています。

現在、上新栄町一に建設中の「はまゆう」は、鉄筋コンクリートの特別養護老人ホーム、リフト造り三階建て。階中の特別養護老人ホーム、リフト造り三階建て。階中の特別養護老人ホーム、リフト造り三階建て。

八月十一日から十七日まで、新潟西港山の下ふ頭に寄港する大型帆船「日本丸」が寄港。これは、次に行き「写真」では、夏休みの思い出に、ぜひご覧ください。

八月十一日午前十時十五分、消防音楽隊の演奏などによる入港祝典を行います。



8月14日～17日

大型帆船日本丸が寄港

八月十二日午後一時三十分、寄港中、帆を張るの姿が目に留ります。

八月十三日は夜間ライトアップします。

八月十七日午後二時の出港の際、山の下の小学校アラスバンドの演奏と、乗組員がマストに登ってあいさつを贈る見せよう礼を見るのができます。

問い合わせ：新潟市港課 226-2269

「はまゆう」には単身者な人、ただし、夫婦の場合、どちらかが六十歳以上であれば対象になります。部屋二十一室、夫婦部屋二室を備え、全室に浴室・トイレ・ミニキッチン・電気温水器・冷暖房が完備されています。また、食事サービスは、より必要に応じてヘルパーにも受け付けています。

現在入居を受け付けていますので、どうぞご利用ください。

入居対象者：六十歳以上で独立した生活に不安があり、家族による援助が困難な方。

入居一時金：単身者四百円、夫婦六百円。申し込み・問い合わせ：社団法人「更生福祉会」新潟市支部 一丁字園内 26 914001

新潟市黒埼町 合併問題

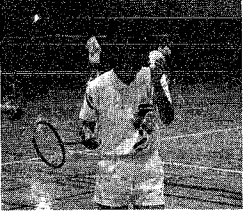
任意協議会で本格協議

新潟市と黒埼町との合併問題について協議する、任意協議会が、任意の合併問題協議会(会長・長谷川市長)の第三回目の会議が七月二十四日に開かれ、事務局から提案された合併に関する行政制度の調整方針案について協議を行いました。

この日は、合併の方式、合併の期日、財産・地方税の取り扱いなどの項目について協議しました。

同協議会は、合併問題について話し合うため今年二月に発足。委員は両市町の議員、三役、県職員など五十四人で構成されています。今後、さらにも協議を重ね調整方針案について協議を進めていきます。

元気な仲間たち ～少年少女スポーツ編⑨～ バドミントン



NJBCの文字が入ったユニホームで練習に打ち込んでいるのが、新潟ジュニアバドミントンクラブの皆さん。全国トップレベルのジュニア層の育成を目的に、平成元年に結成された同クラブは、小・中学生を対象に週二回、練習日を行っています。今月京都府で開催される若菜杯バドミントン大会にも出場するメンバーの監物佳織さん(坂井橋小六年)と高橋寿子さん(上山小六年)は「写真」は優勝を狙うとキツパリ隣のコートでは果敢と競り合っている外国人コリコリ選手が中学生を指導、練習が楽しんでいるという二人は「中学生になっても、もちろん続ける」とバドミントン王国の継承を担う決意を語ってくれました。

鳥居野交通公園
ゴーカートを体験します

8月15・16日のゴーカートは臨時休業します。なお休業日は毎月曜日です。

市役所・市教育委員会
☎228-1000 (代表)

野球場・テニスコートの申し込み…266-8111
園芸センター…286-1034
道局…266-9311
東保健所…243-5311
石山地区保健センター…286-4450
鳥居野地区保健センター…285-2373
北地区保健センター…259-7332
西保健所…266-5171
西地区保健センター…262-3405
坂井橋地区保健センター…260-3255

急患診療：(市医師会) 県歯科医師会
急患診療センター…228-2822
休日歯科診療センター…283-3030

ホームヘルパー(3級課程)養成研修

期間：9月5・7・12日、10月3・5日と9月18日～29日のうち3日(実技)

会場：市役所、特別養護老人ホーム、ほか

対象：受講後、ホームヘルパーや住民参加型在宅福祉サービス提供会員などとして活動する20人 参加費 3,200円

申し込み：8月12日(消印有効)までに往復はがき住所、氏名、生年月日、電話番号、申し込み回数等を記入し、市福祉社まごころヘルパース(学校町通1-602-1) 226-2269へ ※応募多数の場合抽選

労働実態調査にご協力を

市では企業経営や労働条件改善、労働行政推進の資料とするため、毎年市内の事業所の労働条件などについて調査を行っています。調査票が届いた事業所の方は調査にご協力ください。

問い合わせ：勤労福祉課(市内226)へ